

最近のトピックス

いりどりREPORT No.5では、老後に備えて知っておいていただきたいお金や生命保険に関する情報をお伝えいたします。皆さまのライフプラン設計にお役立ていただければ幸いです。

DB・DC共通コラム

あればいい、というものではない。

「お金の形」に関心を

■ 自分のお金なのに使えない？

金融機関では本人であっても本人確認書類がないと手続きできないことがたくさんあります。もし、あなたが病気やケガで動けなくなったとき、定期預金を解約して現金を持ってきて欲しいと思っても、あなた以外の方が窓口に行っても銀行は応じてくれません。

十分な貯えがあるのに一番大事なときに使えない、こうしたことを避けるためにはお金を使える形で持つことが大切です。

- キャッシュカードを必ず作っておく
- キャッシュカードの置き場所と暗証番号を書いて封をし、その封筒の所在を家族や信頼できる人に伝えておく
- 急なことに備えてある程度の現金を常時、おいておく

金融機関によっては病室まできてくれるなどの対応をとってくれるところもあります。

都市銀行だけではなく細かい配慮をしてくれる身近な金融機関に口座を持つことも有効です。そして定年が近づいてきたら、金融商品を徐々にリスクの低いシンプルなものに移し替え、口座をいくつかに集約していくことを考えましょう。



いいことたくさん、彩企業年金基金加入のメリット

■ 基金の掛金は全額会社負担

国の厚生年金保険料は、会社と従業員が半分ずつ負担して国に納めています。保険料は毎月の給与や賞与から差し引かれており、給与明細に記載されています。

これに対して基金の掛金は、全額会社負担です。みなさんは、負担が増えることなく、将来基金から給付を受けることができます。

■ 1ヶ月加入すれば給付が受けられる

国の年金は、10年以上保険料を納める(または免除などを受ける)ことで年金が受けられます。

これに対して基金は、1ヶ月以上加入すれば、退職時に脱退一時金を受けることができます。また、10年以上加入すれば、年金か一時金か選択して受けることができます。

■ 国の年金と彩企業年金基金の比較

	国の年金(厚生年金)	彩企業年金基金
運営	国	企業
目的	老後の生活保障	福利厚生(退職金としても可)
保険料・掛金	会社と従業員が半分ずつ負担	会社が負担
給付の種類	終身年金	有期年金または一時金
給付を受けるために必要な加入期間	10年	1ヶ月